※令和４年度以降入学生用

学校番号	309

令和５年度　情報科

教科	情報	科目	情報Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	－新編－　情報Ⅰ　（東京書籍）						
副教材等	新編情報Ⅰ資料ノート						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

情報について実習を中心として学習していく。
実習課題成果物を主体的に作成することが望ましい。
探Ｑを中心に様々な教科と横断的に学習できればと考えている。

２　学習の到達目標

（１）コンピュータや情報の仕組みに対する知識を深め，情報社会を支えるシステムに関心を持ち技能を身につける。

（２）情報機器を活用し、情報の収集、分析を行い、それらを組み合わせ思考、判断しながら問題を解決し、それを適切に表現する力を身につける。

（３）情報機器を活用したコミュニケーションや情報発信において，他者への配慮や責任をもつ態度を育て、情報化が社会に及ぼす影響や課題について理解し，情報社会に主体的に積極的に参画する態度を育てる。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	効果的なコミュニケーションの実現，コンピュータやデータの活用について理解・知識を深め技能を習得するとともに，情報社会と人との関わりについて理解を深めるようにする。	様々な事象を情報とその結び付きとして捉えて思考し，問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に判断･表現する力を養う。	情報と情報技術を適切に活用するとともに，情報社会に主体的に参画する態度を養う。 また得手不得手の出やすい教科特性から、自らの学びを調整する力を身につける。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	情報で問題を解決する	情報とメディアの特性 問題解決の流れ 発想法 情報モラル 個人情報の流出 傷つかない傷つけないために 著作権 情報技術の発展 情報化と私たちの生活の変化 よりよい情報社会へ	a:情報で問題を解決する上での知識・技能を深めているか。 b:情報で問題を解決する上で、深く思考し、適切に判断・表現か出来ているか。 c: 主体的に情報で問題を解決する態度を見せているか。	定期考査 成果物	定期考査 レポート 課題	成果物 振り返りシート
	プレゼンテーションソフトウェアの操作	自分の興味関心のあることについて、プレゼンテーションソフトウェアを活用、表現	a:プレゼンテーションソフトウェアの基本的な操作方法を身につけているか。 b:関心のあることについて深く思考し、判断・表現ができているか。 c:成果物を作成することを目的とせず、成果物を手段とし自分の考えを主体的に表現することに主眼が置けているか。			
	情報を伝える	コミュニケーション手段の変化 ネットコミュニケーションの特徴 デジタルの社会へ 数値と文字のデジタル表現 音と画像のデジタル表現 色と動画のデジタル表現 目的に応じたデジタル化 情報デザイン ユニバーサルデザイン 情報デザインの流れ	a:情報を伝えるうえで、重要となる知識・技能を身につけているか。 b:正確に情報を伝えることの重要さを理解し、得た情報について思考し、自ら判断し、表現できているか。 c:主体的に正確な情報を伝えようと考えているか。			

※令和４年度以降入学生用

2	表計算ソフトウェアの操作	表計算ソフトウェアの基本的な操作方法。 表計算ソフトウェアでの数式の利用方法 表計算ソフトウェアでの関数の利用方法 ディレクトリやファイルの操作方法	a:表計算ソフトウェアの基本的な操作方法を身につけているか。 b:関心のあることについて深く思考し、判断・表現ができているか。 c:成果物を作成することを目的とせず、成果物を手段とし自分の考えを主体的に表現することに主眼が置けているか。	定期考査 成果物	定期考査 レポート課題	成果物 振り返りシート
	コンピュータを活用する	コンピュータとは何か ソフトウェアの仕組み 演算の仕組みとコンピュータの限界 アルゴリズムの表現 プログラムの基本構造1 プログラムの基本構造2 発展的なプログラム1 発展的なプログラム2 モデル化とシミュレーション シミュレーションの活用	a:コンピュータの仕組みを理解し、基本的地な知識を得て、活用する技能を身につけているか。 b:コンピュータのプログラミングや有効的な使用方法を思考、判断し、簡単な表現が出来る。 c:主体的にコンピュータを活用し、より発展的な活用方法を考えているか。			
3	文書処理ソフトウェアの操作	文書処理ソフトウェアの基本的な操作方法 文書処理ソフトウェアで図，表，画像の利用方法 ディレクトリやファイルの操作方法	a:文書処理ソフトウェアの基本的な操作方法を身につけているか。 b:関心のあることについて深く思考し、判断・表現ができているか。 c:成果物を作成することを目的とせず、成果物を手段とし自分の考えを主体的に表現することに主眼が置けているか。	定期考査 成果物	定期考査 成果物 レポート課題	成果物 振り返りシート

※令和４年度以降入学生用

	データを活用する	ネットワークとインターネット インターネットの仕組み サーバとクライアント インターネット上のサービス 情報セキュリティ データの形式 データベースの活用 さまざまなデータモデル データ分析の流れ 目的に合わせたデータの利用	a:インターネットの仕組みを理解しデータを活用する上での必要な知識、技能を身につけているか。 b:インターネットの仕組みを理解しデータを活用するために思考し、目的に合わせたデータを判断し、表現できているか。 c:与えられたデータを利用するだけでなく、主体的にデータを活用しようとしているか。			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度